



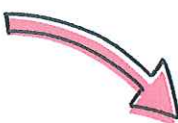
# きっずる一むだより

第48号  
令和6年10月10日発行  
社会福祉法人ゆうゆう  
きっずる一む県庁別館



澄み切った青空が広がり、過ごしやすい季節となりました。爽やかな秋晴れの下、子どもたちは戸外で元気いっぱい遊んでいます。子どもたちは夢中でトンボを追いかけたり、拾った落ち葉やどんぐりの実を大事にポケットに入れたりする姿が見られます。10月も沢山戸外遊びや散歩に出掛け、秋探しを楽しみたいと思います。

## 人見知り



利用を始めた頃は、お母さんと離れることへの不安が強く泣くことが多かったAちゃん。来所を重ね、少しずつ泣く時間が短くなり周りの子どもたちの遊ぶ様子を眺める余裕も出てきました。そして、ついに自らハイハイをして玩具を取りに行き笑顔で一人遊びを始めました。Aちゃんの成長に保育者一同感動しました。

## Aちゃんの姿から見た発達

赤ちゃんは成長と共に認知能力が発達し、保護者など身近な人とそうでない人の区別ができるようになります。身近でない存在に不安や恐怖を感じるようになります。また、同時に相手に近づきたいという見知らぬ人への興味関心も抱いていると言われます。泣く、固まるといった行動の中には、怖いけど近づきたいという葛藤も含まれているのです。

子どもの泣き顔を見ると心配になり、困ってしまうこともあるかもしれませんが、人見知りは子どもにとって大切な成長の証です。子どもの心の動きにそっと寄り添い、温かく見守っていきましょう！きっずる一むでも引き続き、子どもたちが安心できるような声掛けをし、子どもたちの目が輝くような楽しい保育環境を整えていきたいと思えます♪

## 読書の秋



親子で絵本に親しみましょう。幼児期に大人が絵本を読んであげるとは、子どもの心の育ちに繋がります。絵本は子どもの想像力を豊かにし、感情を優しく育てる大きな役割を持っています。絵本を通して子どもと大人が共に楽しい時間を過ごす喜びを分かち合い、心から触れ合う幸福感を味わうことができます。ゆったりとした気持ちでお子様と一緒に読書に親しみましょう。

### きっずる一むの子どもたちがよく見る絵本特集！

